

6 班 ♪ 作ろう 基準、 そうだ ♪

♪ 行こう 京都、 そうだ ♪

平成27年度学術情報リテラシー教育担当者研修

グループ討議成果物

発表日: 2015/11/20

会 場 : 国立情報学研究所

# 課題

- 質を保証できない
- 負担軽減したい。**ツライ**。
- 拒否反応。やりたくない意識。
- 逆らえない人事
- わからない育て方

こんなんじゃ、  
学生が  
かわいそう！！！！！！

# 解決策

学生にはAdmission Policy、Curriculum Policy、Diploma Policyがある。



図書館職員にはない。



そうだ基準、作ろう♪

# 作ってみた

## 大学図書館職員のための情報リテラシー(教育)基準(仮) 「伝える知識(学生への指導内容)」

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
サービス	図書館のルールを伝えられる	施設・サービスの存在を伝えられる	施設・サービスの具体的な説明ができる
探索法	キーワードでの検索方法を伝えられる	検索のコツを教えられる	検索の幅を広げるヒントを伝えられる
評価・整理	書誌情報・出典を説明できる	学術情報とは何かを説明できる	論文の質の評価方法を教えられる
表現法	パクリと引用の違いを説明できる	正しい引用の仕方を伝えられる	執筆・発表のコツを伝えられる

# 作ってみた

## 大学図書館職員のための情報リテラシー(教育)基準(仮) 「伝える技術(職員のスキル)」

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
教授法	マニュアル通りに説明できる 原稿を読める	質問に対応できる 原稿を理解して読める	プログラムを作成できる 学生の様子に目を配れる
企画・連携力	カリキュラムや学部のことを理解している	教員の要望に応えられる	潜在的なニーズを把握し、提案できる

# 利用説明

大学図書館職員のための情報リテラシー(教育)基準(仮)

- 職員の経歴によりレベルが順番に埋まるわけではない。
- 活用の仕方は現場ごとに違ってok。

# 活用法

- あがる自信：質保証ができる
- 進む理解：体系化ができる
- あがる知名度：学内外・他部署に説明できる
- 増える仲間：負担が軽減できる

これで、学生も  
HAPPY ! ! ! ! ! !